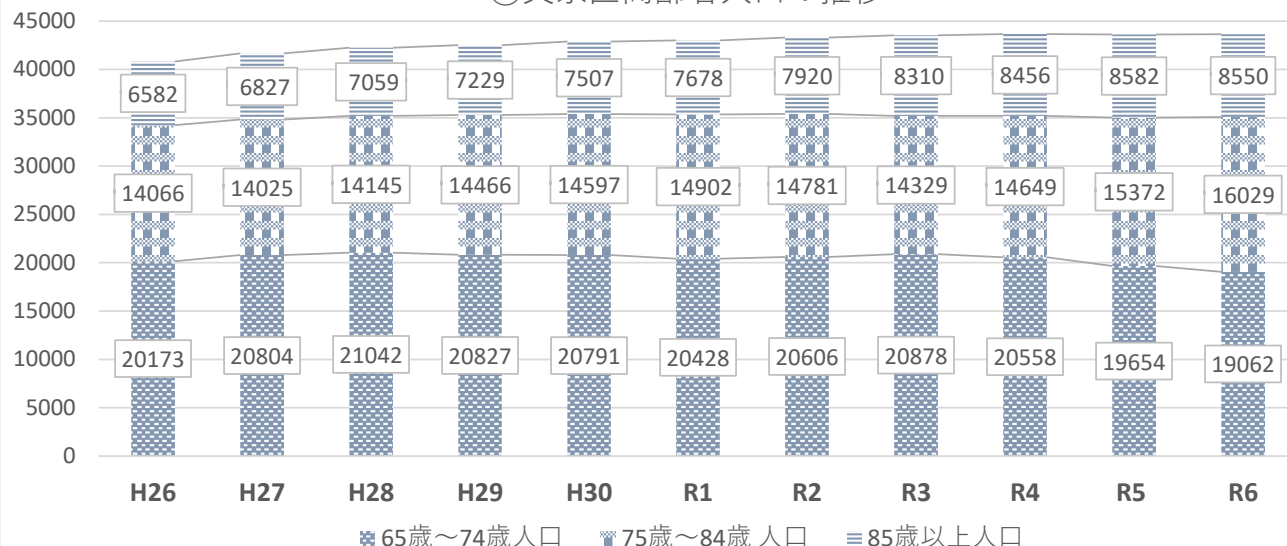


①文京区高齢者人口の推移



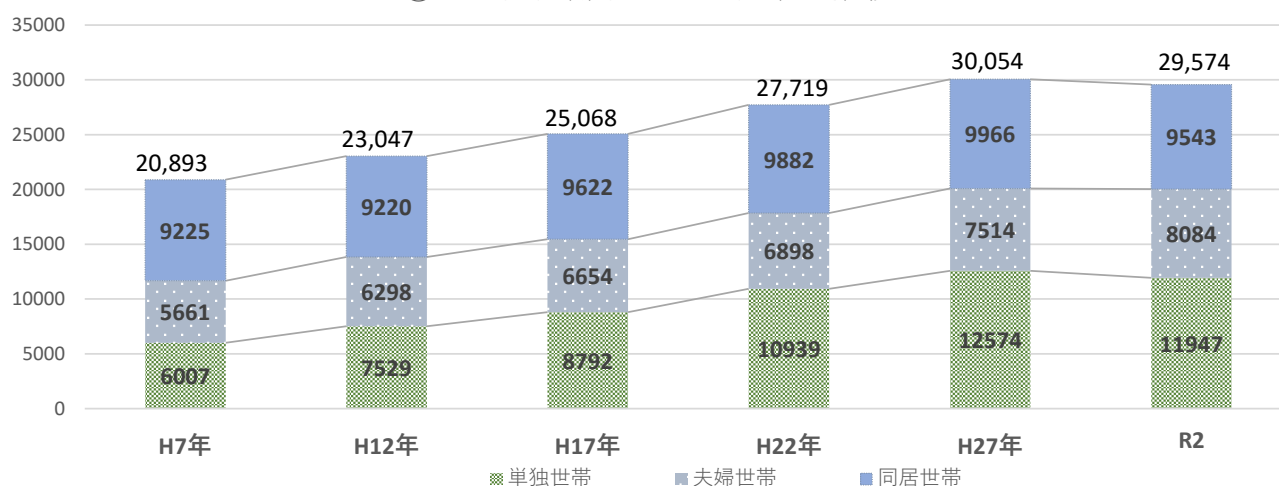
文京区人口統計資料年齢別（各歳）別及び男女別人口（住民基本台帳）に基づく各年4月1日現在の実績値

★文京区高齢者・介護保険事業計画（令和6年～令和8年度）の推計

令和10年 前期高齢者19,682人・後期高齢者27,249人

令和30年 前期高齢者29,192人・後期高齢者35,053人

②文京区高齢者のいる世帯の推移



高齢者介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）、令和2年度国勢調査より

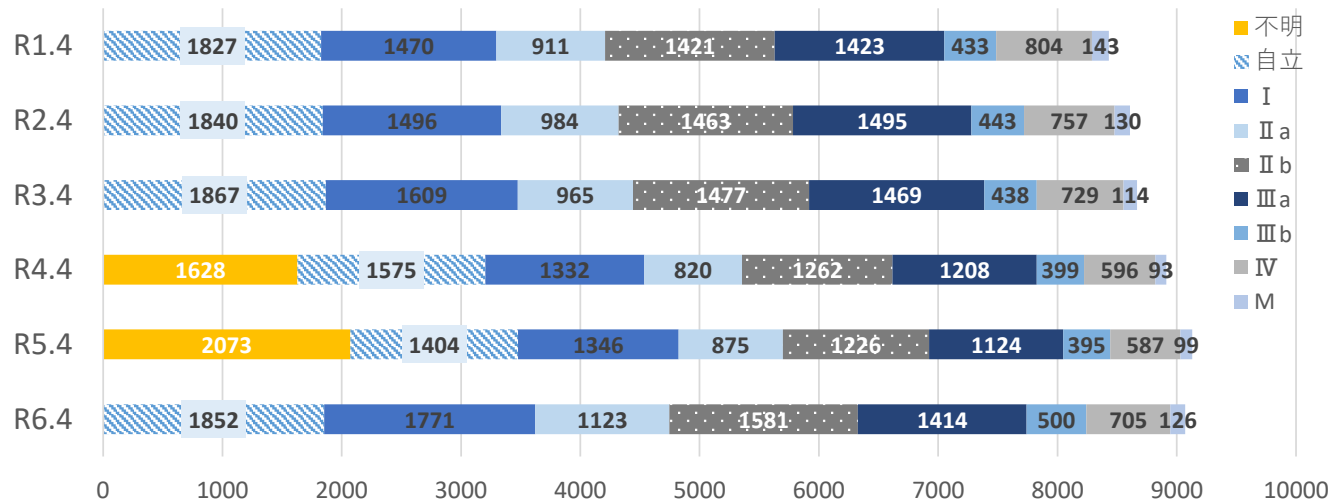
★高齢者夫婦のみ世帯は増加傾向

★介護保険要支援・要介護認定者における独居世帯の認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人数（施設入所者含む）

令和5年9月1日時点：2381人

※新型コロナウイルス感染症により、意見書なしで介護保険の随時的期間延長が行われている影響により、認知症日常生活自立度の内訳が不明な方を除く。

③要支援要介護認定者認知症日常生活自立度



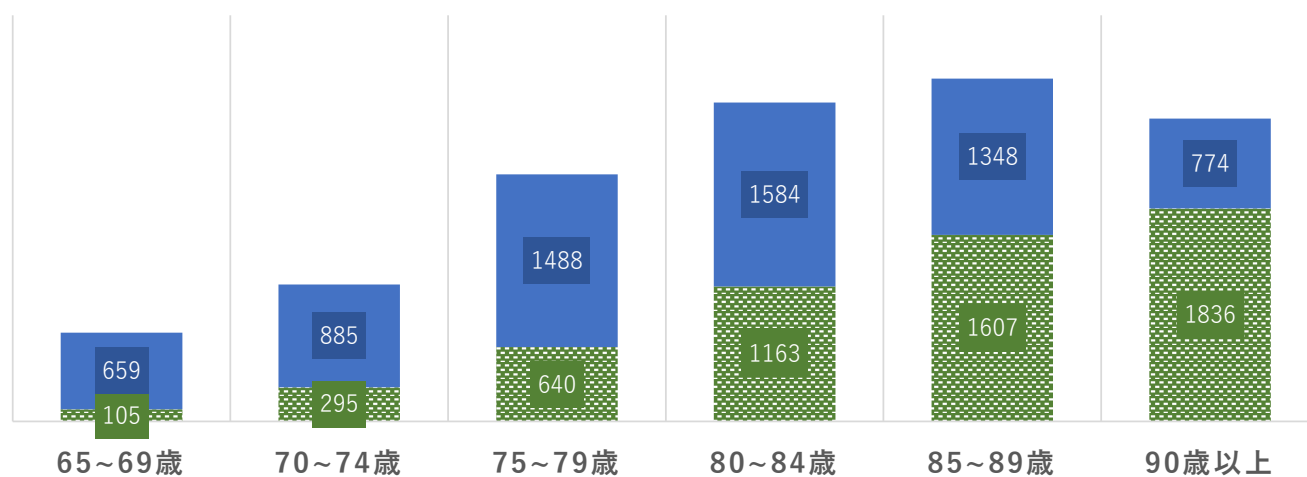
文京区高齢者・介護保険事業計画（令和3年から令和5年）より

★介護認定を受けている方の内R6年日常生活自立度Ⅱ以上は、5,449人（60.1％）となっている。

※新型コロナウイルス感染症により、意見書なしで介護保険の随時的期間延長が行われている為、R4年の1628件、R5年の2073件については内訳不明。

④文京区認知症・軽度認知障害（MCI）の有病者数推計

■ 認知症 ■ MCI



令和5年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究を参考に、R6年4月1日現在の人口を基準として算出

★ 65歳以上推計（R6.4.1現在の人口で算出）では、認知症：5,647人 MCI：6,737人となっている。

文京区認知症ケアパス作成における理念及び方針

認知症になっても人として尊重され、希望を持って自分らしく生きることができる文京区

- 誰もが認知症の正しい知識を持ち、どのような支援が受けられるか知っている文京区
- 適切なタイミングで適切な支援につながり、切れ目なく支援が提供される文京区
- 認知症であってもそうでなくても、「お互いさま」と当たり前を支えあう文京区
- 認知症の本人を支える家族の生活と人生に、充分配慮された支援のある文京区

普及・啓発の推進

◇ 認知症講演会

	R1	R2	R3	R4	R5
開催回数	3回	4回	5回	8回	4回
参加者数	283	11	112	192	104
平均参加者数	94.3	2.7	22.4	24	26

◇ パンフレット等



◇ 認PAKU~認知症に寄り添う機器展~

	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	569	173	236	393	325



◇ 認知症サポーター養成講座

	R1	R2	R3	R4	R5
開催回数	43回	19回	18回	27回	43回
受講者数	区民	224	73	161	243
	学校	500	505	311	349
	企業	554	44	175	173
	合計	1,278	622	647	765

R3年度から



◇ 認知症サポーターステップアップ講座

	R1	R2	R3	R4	R5
受講者数(延)	28	21	26	23	59



R5年度の認知症サポーターステップアップ講座について

認知症サポーターの役割を再確認し、認知症サポーターとして地域に根差した活躍ができるようプログラム内容を改訂した。



認知症早期診断・早期支援推進事業

◇認知症支援コーディネーターについて

認知症の本人と家族が地域で安心して生活できるよう、区市町村に認知症の医療・介護・生活支援等の情報に精通した地域における認知症の専門家である認知症支援コーディネーターを高齢者あんしん相談センターに配置し、個別ケース支援のバックアップ等を担い、認知症の疑いのある人の早期発見・診断・対応を進めることにより、地域の認知症対応力の向上を図ることを目的とする。

東京都認知症支援コーディネーター事業包括補助事業概要より

◇認知症相談機能強化

～H26年度から認知症支援コーディネーターを配置し個別支援や認知症施策を推進～

	R1	R2	R3	R4	R5
認知症支援CO対応件数（延）	816	703	729	808	1,044
認知症相談件数（延）	3,316	4,397	3,760	4,513	4,816

◇もの忘れ医療相談

～H26年7月より認知症サポート医を区の嘱託医として高齢者あんしん相談センターに配置～

	R1	R2	R3	R4	R5
来所相談件数	22	24	28	21	24
訪問相談（再掲）件数	6	3	5	2	8

※不在含む

▼もの忘れ医療相談結果 ※重複あり

	R1	R2	R3	R4	R5
助言	11	14	12	8	10
要医療	8	6	13	12	10
方針確認	2	0	2	4	2
介護保険	0	1	0	0	0
その他	1	3	1	1	2

▼もの忘れ医療相談”要医療”と判断された方のその後の状況

	R1	R2	R3	R4	R5
受診他	4	1	7	7	4
状況	・嘱託医、他の専門医、介護保険申請など				
未受診	4	5	6	5	6
状況	・支援拒否のため、介入の時期を検討 ・初期集中支援事業へ移行 ・包括や関係機関での見守り支援・受診勧奨継続				

認知症早期診断・早期支援推進事業

◇ 認知症初期集中支援推進事業～H29年10月より多職種連携による認知症支援の開始～

【事業概要】

認知症サポート医・専門医・認知症支援コーディネーター（看護師）・社会福祉士・認知症地域支援推進員（区職員）による多職種連携により、認知症のご本人及び家族に対して、医療や社会資源サービス調整等の支援を行う。

	事業対象者数				
年次	R1	R2	R3	R4	R5
文京区	11	7	6	4	4
全国平均	12.4				

支援の 実際	事業開始時の状況			
	初動日数	長谷川式 平均	ダスク平均	認知症診たて有 ※疑い含む
R1	24.7	15	45.8	11
R2	15.3	14.3	40.7	7
R3	25.2	25	54.7	6
R4	7.5	18.5	40	4
R5	11.0	17	41	3
全国平均	17.2			

※初動日数は、本人の拒否等により、訪問が出来なかったケースを除いて算出

◎事業開始時のザリトより

- ・怒ると何度も外出してしまい困る。
- ・BPSDの症状でマンションから出てほしいと言われている。本人からの電話攻撃が多い。
- ・何を言っても「分からない」を繰り返し、会話が成り立たない。
- ・心配して注意しても、受け入れてもらえない。

支援の 実際	事業終了時の状況				
	平均支援期間	支援終了	医療	介護	その他
R1	206.9	10	0	2	8
R2	176.2	13	2	4	11
R3	181.4	4	0	3	1
R4	209.5	4	1	1	2
R5	146.3	4	1	0	3
全国平均	137.9				

◎事業終了後のザリトより

- ・毎日サポートが入り安心。本人とうまくコミュニケーションを図ってくれて助かる。
- ・自分1人で対応しなくてよいのだと思えた。
- ・通所施設を利用する事が出来たので、介護の負担が本当に軽くなった。

※ザリト(Zarit):介護によってもたらされる身体的負担・心理的負担・経済的困難などを統括し、

介護負担として測定する指標である。点数が増加するほど、介護負担感が大きいとされる。

※長谷川式簡易認知機能評価スケール：認知症の可能性のある高齢者をスクリーニングするために作成された

高齢者用の質問式の知能評価指標である。30点満点で20点以下は認知症の疑いが高まるとされる。

※ダスク：認知機能低下の状態と生活課題の評価を21の質問項目で構成し、リストアップ

したものである。合計点を用いる場合、29点以上で認知症の可能性ありと判定する。

◇ 認知症検診事業

【事業概要】

目的：認知症に関する普及啓発、本人による認知症の早期の気づきの支援
内容：55・60・65・70・75歳を迎える区民を対象に、認知機能チェックや認知症の普及啓発パンフレットを個別に送付する。希望制（先着・定員あり）で、指定会場での検診を実施。タブレット端末「のうKNOW」を活用して、脳の健康度測定を実施し、結果について医師からの助言を受ける他、必要に応じて医療機関や診断後支援事業に繋げていく。また、検診会場では、必要に応じて個別の健康相談、管理栄養士や歯科衛生士等による認知機能と生活習慣の関係についてのミニ講座を開催している。令和3年度より開始。

【検診対象者】

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R3	3,071	2,248	1,975	2,427	1,646	11,367
R4	3,362	2,547	1,994	1,892	2,497	12,292
R5	3,334	2,735	2,083	1,763	2,263	12,178

【申込者】

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R3	153	135	96	97	116	597
R4	154	111	92	111	143	611
R5	56	56	46	52	117	327

(R5)女性62.7% 男性37.3%

【受診者・当日実績】

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計	医療機関 連絡書 発行	個別相談				ミニ講座		
								地域包括	歯科	栄養	運動	歯科	栄養	運動
R3	111	95	70	79	87	442	59	117	10	9	37	129	126	125
R4	97	70	66	87	110	430	43	109	7	31	34	111	92	124
R5	33	39	31	46	96	245	29	71	5	29	28	52	49	77

(R5)女性60.8% 男性39.2%

医療機関連絡書発行者の受診結果

29件中21件が医療受診に繋がり、約4割が助言指示、約2割が経過観察、約4割が精密検査となった。
脳の梗塞・萎縮3件、水頭症1件、うつ状態の疑い2件等を発見し、早期の対応に繋げることが出来た。

●PFS（成果連動型民間委託契約方式）の活用

- PFSの特徴
- ・ 成果指標の設定
 - ・ 成果の改善状況に連動した段階的支払の設定
 - ・ 受託事業者独自の取組を取り入れての事業実施
 - ・ 事業終了後、「評価検討会」の実施

成果指標・実績

	取り組み内容	R5成果指標	R5実績	R4実績
I	認知機能テスト（自宅版）の実施者数の増加 （令和5年度の取組例） ・ 対象者に送付する案内文の工夫 ・ デジタルデバインド対策で、自宅での実施が難しい人向けに「測定会」の実施	1,131人以上 （上限1,230人）	1,229人	1,188人
II	生活習慣改善プログラム（3回制）参加者の増加 （令和5年度の取組例） ・ チラシを作成し、検診会場で認知機能低下の疑いのある方に配付 ・ 検診会場にて、健康運動指導士によるミニ体験会の実施	平均41人以上 （上限60人）	43人	45人

◇ 認知症とともにパートナー事業

【事業概要】

認知症の症状が進行し、深刻化後に事例化する事から、認知症の早期の段階で支援につながる仕組みを整備した。医療機関で認知機能低下の判断を受けてから診断後の支援まで、ご本人や家族に寄り添った伴走型の包括的なサポートを実施する。R2年9月より開始。

【事業実施機関】

区内訪問看護ステーション 17カ所

【協力医療機関】

区内医療機関 57カ所

	R2	R3	R4	R5
新規利用者数	9	12	10	19

- 事務局及び受託訪問看護ステーションとの定期連絡会の開催
- 勉強会・事例検討会の開催
- ともにパートナー通信の発行

◇ 認知症とともにフォローアッププログラム事業

【事業概要】

認知症の有無に関わらず、日々の生活習慣の大切さや生活習慣病をコントロールする事の大切さ等、総合的な健康管理と個人の状況に応じたスモールステップな行動変容を促す複合的なプログラムを実施。

	R3年度			R4年度			R5年度		
全3回制	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回
対象者	検診受診者	検診受診者 一般区民	検診受診者	検診受診者			検診受診者		
来場参加者	20	36	12	45	45	46	47	46	43

《プログラム内容》

● 全3回制

(R5年度実施内容)

第1回…脳と体のエクササイズ、管理栄養士、医師による講話

第2回…デジタルツール「のうKNOW」による脳の健康度測定、歯科衛生士による講話、健康運動指導士による運動プログラム

第3回…デジタルツール「のうKNOW」による脳の健康度測定、VR認知症体験

地域での日常生活支援の充実・家族支援の強化

◇ 認知症カフェ『ぶんにこ』

	R1	R2	R3	R4	R5
開催回数	26	7	22	22	29
参加者数	315	64	222	255	362
平均参加者数	12.1	9.1	10.1	11.5	12.5

・本富士地区で、従来の『ぶんにこ本富士』に加えて、R5年度～新たに『もとふじカフェ』が開始。

・認知症サポーターステップアップ講座の受講修了した方を、R5年度～ボランティアとして受入れ開始。

◇ 認知症家族交流会

	R1	R2	R3	R4	R5
開催回数	7	5	8	8	8
参加者数	98	49	68	70	172
平均参加者数	14	9.8	8.5	8.7	21.5

◇ 認知症家族介護者教室

	R1	R2	R3	R4	R5
開催回数	8	3	8	8	8
参加者数	203	32	113	138	151
平均参加者数	25.4	10.6	14.1	17.2	18.9

行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業

◇ 靴用ステッカー及び衣類用アイロンシール配付状況(人)

配付数	R1	R2	R3	R4	R5
靴ステッカー	38	48	37	21	22
アイロンシール	31	47	38	22	22

◇ 生活環境維持事業

	R1	R2	R3	R4	R5
利用者数	1	0	0	1	0

◇ SOSメール事前登録事業及びSOSメール配信

	R1	R2	R3	R4	R5
事前登録者数	89	119	136	149	168
メール協力者数	699	745	808	852	901
メール配信回数	5	3	5	2	3
協力者による発見数	0	0	0	0	0

◇ うちに帰ろう模擬訓練

	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	56	中止	37	26	41
R5は11月18日に開催し、参加者41人。 うち、認知症サポーター3人のボランティア協力あり。					

◇ GPS探索サービス

	R1	R2	R3	R4	R5
新規助成者数（持ち運び）	0	2	2	6	3
新規助成者数（靴収納）		4	4	1	1
当該年度の辞退者数	0	-2	-6	-6	-3
年度末現在の利用者数	2	6	6	7	8

◇ 高齢者等おでかけ見守りシール事業

	R3	R4	R5
新規申請者数	15	2	7